

「 「 「 「  
「 「 「  
「 「  
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第48号 2021年6月1日

公演予定会場の横浜市港北公会堂が、9月30日まで新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となるため、7月公演（出演：嘉目真木子 ソプラノ）と9月公演（出演：小暮浩史 ギター）を中止（延期）することに致しました。

公演を楽しみにされていた皆さまにはまことに申し訳ございませんが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。  
なお、延期日程等の詳細は決定次第お知らせいたします。

そのため、今回の「♪ジョイコンNEWS♪」も簡易版（変則的な編集）でお届け致します。

【もくじ】

- 【1】ジョイコン出演者との交流広場
- 【2】今後の予定（先取り情報）
- 【3】“のん”の音楽雑記帳♪『ショパン国際ピアノコンクール』

【1】ジョイコン出演者との交流広場

◎第51回ジョイフルコンサート（7月18日予定）は中止（延期）となりました。  
まず初めに、出演予定だった嘉目さんの「メッセージ動画」をご紹介します。

\*\*\*\*\*

●この動画は、ジョイコンのメールマガジン読者向けにわざわざ作成してくれたものです。どうぞご覧ください。

=====

動画(IMG\_3864.MP4)はファイル転送サービス「GigaFile 便」にアップロードされています。下記URLから、ダウンロードまたはストリーミング再生が可能です。

<https://39.gigafile.nu/0604-m3345d913e433fdf94b812843a59bd0cc>

- ・ コマーシャル画像（夏目友人帳）の下に各リンク「ボタン」があります。
- ・ ダウンロード期限：6月4日（金）
- ・ youtube などインターネットへのアップロードはしないで下さい。

\*\*\*\*\*

●次に、過去出演された方々の「メッセージと動画」をご紹介します。

=====

- 《1》堀沙也香さんのメッセージと動画  
（2015年3月15日第14回ジョイフルコンサートに出演）

=====

『この一年、なかなかコンサートが出来ない中、YouTube や配信コンサートなど、様々な形で音楽を発信してきましたが、やはり生の音・音楽を聴いていただきたいと切に思っております。  
コロナの一日も早い終息を願うばかりです。』

- ①ベートーヴェン：チェロソナタ第5番 作品 102-2

<https://youtu.be/Q3Rh1omIzi0>

生誕 250 周年であった昨秋に収録したものの。

次の2曲は、同世代のチェリスト10名で組んでいる“東京チェロアンサンブル”のリモートチェロアンサンブル。

- ②キャラバンの到着（映画「ロシュフォールの恋人たち」より）

<https://youtu.be/4CnXe9MPNII>

③「レ・ミゼラブル」メドレー  
<https://youtu.be/Qf4C9-sCiRA>

★10名の方のリモートでのチェロの演奏が楽しい演奏でした。  
早く皆さんそろって演奏できる日が来ることをお祈りします。

=====

《2》鎌田 美穂子さんのメッセージと動画  
(2015年1月18日第13回ジョイフルコンサートに出演)

=====

『音楽を愛する皆さまへ  
音楽には力があります。  
聴いても、観ても、感じて、どのような形でも全身全霊に響きます。  
日常生活とは異なる動きかもしれません。  
が、しかし、そこにこそ「遊び」があり「生きる」モノがあります。  
今まで眠っていた感覚を呼んでみましょう。』

①「おぼろ月夜」  
<https://youtu.be/nM4GPLtoLHc>  
そちらのコンサートにお呼びいただいた時に共演して下さった  
ヴァイオリン・大堀由美子さんとの動画です。

②「鯉の道行」ダイジェスト版  
[https://youtu.be/7I2NjGNnd\\_E](https://youtu.be/7I2NjGNnd_E)  
「鯉の道行」(中村考哲作詞、中井智弥作曲)は2021年2月16日に開催した  
「鎌田美穂子&上田麻里名デュオコンサート」で演奏したもののダイジェスト版です。

③「星、巡る」  
<https://youtu.be/sPywRjaWGLE>  
「星、巡る」(かまたみほこ)は昨年、東京都主催の「アートにエールを！」と  
いう動画企画に出演した動画です。

★「おぼろ月夜」は、何となく気分的にももやもやしてしまう今の時期に  
合ってる気がします。

\*\*\*\*\*

●最後に、AYAME アンサンブル・バロックさんのウェブサイトをご紹介します。  
(2021年1月17日第49回ジョイフルコンサートに出演予定でした)

=====

<https://youtube.com/channel/UCCRFuNx6AP9BzGxm2sbZsEw>  
「AYAME dayori Vol.0」はお知らせ動画で、ジョイコンの公演中止についても  
触れられています。  
また「AYAME dayori Vol.1」では珍しい楽器が登場しています。  
奏者の野崎真弥さんの解説；  
『この手回し楽器はヴィエルと言いまして、日本では「ハーディ・ガーディ」と  
いう名前でのほうが知られているかもしれません。ハンドルで木製の円盤を回す  
ことにより、弦が擦られて音を発します。  
この楽器の歴史は古く、11世紀より前には存在していたようですが、18世紀  
にはフランスの貴族の間でも流行しました。ヴィエルを含む作品は、フランス  
バロック音楽の特徴のひとつであると考え、AYAMEでも積極的に取り組んでいき  
たいと考えています。』

★今年から月1を目安に動画配信をはじめたそうです。  
バロックアンサンブルを是非お楽しみください。(A.N)

\*\*\*\*\*

■読者の皆さまにお願い■  
ジョイコン出演者の方々から読者の皆さまに特別メッセージと動画を寄せて  
頂きました。是非、動画をご覧いただいて感想などを下記メールアドレス宛に

お寄せ頂ければ幸いです。 <mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

---

## 【2】今後の予定（先取り情報）

---

### ■■第53回コンサート■■

◇2021年11月21日（日曜日）14時開演

◇出演：カルテット・アマール（弦楽四重奏）

---

### ■■第54回コンサート■■

◇2022年1月16日（日曜日）14時開演

◇出演：AYAMEアンサンブル・バロック（古楽）

---

### ■■第55回コンサート■■

◇2022年3月20日（日曜日）14時開演

◇出演：葵トリオ（ピアノ三重奏）

★会場は、すべて横浜市港北公会堂（東急東横線 大倉山駅より徒歩7分）です。

新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場として期間延長など諸事情により公演を中止（延期）する場合があります。

★プログラム等詳細は順次、本欄、ホームページ、チラシ等でお知らせいたします。

---

## 【3】“のん”の音楽雑記帳♪『ショパン国際ピアノコンクール』

---

昨年、新型コロナウイルス感染拡大で、ショパンコンクールとエリザベート王妃国際音楽コンクール（ピアノ部門）が今年に延期されたので2021年はピアノコンクールの当たり年となりました。

ショパンコンクールはポーランドのワルシャワでショパンの命日に合わせた10月に5年に1度開催されます。現在世界的に最も権威あるコンクールの1つと言われ、ピアニストにとって最高の登竜門とされ、エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー）、チャイコフスキー国際コンクール（ロシア）と合わせて世界3大コンクールと称されています。

ショパンコンクールは1927年に第1回が開催され、今年が第18回です。このコンクールの最大の特徴は、第1次予選から本選まですべてショパンの作品による演奏のみで審査が行われることです。テクニックは優れているがショパンらしくないとか、ではどう弾けばショパンらしいのか…審査があいまいだと言われることもあります。ショパンコンクールは若いピアニストの目標として人気があるだけでなく音楽イベントとしても人気があります。「5年に1度」の開催なのでスポーツにおけるオリンピックのようだといってもいいようです。

1927年に創設された時のショパンコンクールの趣旨は、スポーツと同じような「競い合い」と、19世紀ヴィルトゥオーゾのスタイルに対抗する「ショパンの正統的な解釈の普及」の2本立てでした。1920年頃、若い音楽学生の無目的、無気力、無感動を憂っていた指導者達は、サッカーの試合に熱狂している若者達を見て、ピアノにも熱中してくれたらと願い「競い合い」を思いつきます。もう1つの「正統的な解釈の普及」は、その当時は、作曲家が書いた譜面通りでなく、その場の感興で様々に曲をアレンジすることが日常的に行われていたことに関係します。ショパンの練習曲を7曲つなげてパラフレーズにするとか、左手で黒鍵のエチュード、右手で蝶々のエチュードを弾いて合わせるとか、トレモロを増やすとか、オクターブは書かれているより上を弾いて華やかにするとか、聴いているぶんには面白いけれど、教育者にとってピアノを学ぶ学生にこういうことをされたらたまらないと思ったようです。著しくゆがめられたショパン演奏を本来あるべき姿に戻すことを目的に「ショパンの作品を弾いて競う国際的な音楽コンクールを開いてみたらどうだろう」ということになったわけです。第1回の参加者は8ヶ国から26人でしたが、2015年の応募者は455人まで増えました。

今年のコンクールもまず事前審査（DVD審査）で約160人程度にして、

予備予選で160人から80人に、第1次予選で80人から40人に、第2次予選で40人から20人に、第3次予選で20人から10人にしぼられ、10人がファイナリストになります。本来なら予備予選は今年の4月だったのですが、コロナの影響で7月12日～23日になりました。予備予選には日本人30人が参加します（牛田智大さんは予備予選免除）。30人の中には反田恭平さん、小林愛実さん、角野隼斗さんはじめそうそうたる方々がいらっしゃいます。皆それぞれが実力を発揮されて良い結果が出るよう応援したいです。（のん）

---

#### 【編集後記】

---

今年の5月3日～5月29日まで4週間に渡ってエリザベート王妃国際音楽コンクール（ピアノ部門）が開かれました。今年は感染防止策として無観客で実施、決勝進出者（ファイナリスト）を例年は12人のところを6人にする等、異例の大会になりました。

1次予選、セミファイナル、ファイナルの演奏はライブ配信されましたが、アーカイブでも見ることができます。1次予選から皆、リサイタルのようなすばらしい演奏をされています。

公式サイト <https://queenelisabethcompetition.be/en/watch-listen/>

2019年7月の第40回ジョイフルコンサートに出演された務川慧悟さんも阪田知樹さんと共にファイナルに残り、務川さんが第3位、阪田さんが第4位を受賞されました。

務川さんは「この1ヶ月とても学ぶことが多く、今後のピアニストとしてのある意味、転機になりました。このコンクールを受けて本当によかった。」とコメントされています。ジョイフルコンサートに出て下さった方が世界的なコンクールで高く評価されるのは本当に嬉しいことです。

ますますのご活躍を楽しみにしたいと思います。（のん）

---

※このメールマガジンは、

大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

[info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

■メールマガジン♪ジョイコン NEWS♪の感想などお寄せください。

[info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

---

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール [info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>

---